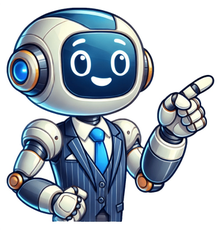
Click Here



2018年に1作目が公開され、スマッシュヒットとなった「ヴェノム」シリーズ。これまでの2作で、謎の宇宙生命体シンビオートとジャーナリストのエディ・ブロックが融合して誕生したヴェノムの戦いが描かれてきました。 そんな大人気シリーズの最終章となる『ヴェノム：ザ・ラストダンス』の先行上映が2024年10月25日から27日まで開催！2024年11月1日(金)に全国公開されます。 ここではこれまでのシリーズのおさらいとともに、最新作『ヴェノム：ザ・ラストダンス』をネタバレありで紹介していきます。 映画『ヴェノム：ザ・ラストダンス』はシリーズ完結編に？ 公開日 2024年11月1日(金) 2024年10月25～27日に先行上映 キャスト トム・ハーディ , キウェテル・イジョフォー , ジュノー・テンプル 監督 ケリー・マーセル 突如地球に飛来した宇宙生命体のシンビオートであるヴェノムと寄生のジェーナリスト、エディ・ブロック(トム・ハーディ)が主役の「ヴェノム」シリーズ。シリーズの魅力といえば、やはりシンビオートの恐ろしい見た目とはギャップのある愛嬌です。エディとのバディ感が多くの観客の心をつかみました。 これまで別のシンビオート共生体であるライオットやカーネイジを戦いをくり広げてきたヴェノムですが、本作はシリーズ完結編とされており、彼らの物語にどんな終止符が打たれるのか注目です。 映画「ヴェノム3」のあらすじ【ネタバレなし】 MCUのユニバースから戻ってきたエディ(トム・ハーディ)とヴェノムは、自分たちがマリガン刑事(スティーヴン・グレアム)殺害容疑で全米指名手配されていることを知ります。サンフランシスコに戻れなくなった彼らは、ヴェノムの提案でニューヨークを目指すことに。 そのころヴェノムの故郷クリンター星では、かつてシンビオートの反乱で幽閉された邪神ヌルが、牢の鍵である「コーデックス」を狙って、手下たちを宇宙の隅々まで送り出していました。 一方、エリア51では閉鎖のための解体が進んでいましたが、地下施設ではシンビオートの研究がつづけられていました。彼らは死亡したと思われていたマリガン刑事にシンビオートを寄生させて蘇らせますが、そこで衝撃的な事実が語られます。 【ネタバレ】『ヴェノム：ザ・ラストダンス』の結末を解説 「コーデックス」を狙われるヴェノムたち シンビオートの創造主である邪神ヌルは、かつてのシンビオートの反乱により、クリンター星に幽閉されています。彼はその牢の鍵となる「コーデックス」を探して、手下のゼノファージを全宇宙に放ちました。 「コーデックス」は、シンビオートと寄主が完全に共生したときのみにできるもので、宇宙でエディとヴェノムだけが持っていたのです。実は、1作目の『ヴェノム』でのライオットとの戦いにおいて、一度死んだエディをヴェノムが蘇生した際に「コーデックス」を作成していました。 ゼノファージはある条件のもとでだけ、「コーデックス」を見ることができます。エディとヴェノムはその特性を利用して逃亡劇をくり広げます。 くわしいあらすじはこちら シンビオートVSゼノファージ！最後の戦いへ エリア51に連れてこられ、引き離されてしまったヴェノムとエディ。エディはマリガン刑事に再会し、彼に寄生したシンビオートから、絶対にゼノファージにコーデックスを渡してはならないと忠告されます。その後ペイン博士はシンビオートたちを解放し、ヴェノムも再度エディに寄生します。 シンビオートたちは軍人や研究員に寄生し、ゼノファージに立ち向かいます。しかしゼノファージが仲間を呼び寄せ、シンビオートたちが次々と敗れるなか、最後の手段として強い酸の出る巨大な装置でゼノファージを倒すことに。 ヴェノムは2人が共存する限りヌルが追いかけてくることを悟り、自分を犠牲にエディを助けることを心に決めていました。「彼女(自由の女神)に会いたかった」と弱気なヴェノムをエディは「会いに行くんだよ」と励ます。 ゼノファージの装置もとへおびき寄せるため、命がけでバイクを走らせるエディとヴェノム。うまくおびき寄せたところでヴェノムはエディの体を離れ、ゼノファージに寄生しました。 ヴェノムの最後と「自由の女神」の約束 エディの体から離れ、彼に鉄のドアを乗せて爆発から守ったヴェノム。「お前のことを忘れない。俺のことも忘れないでくれ」という彼のセリフには泣けてきます。 「今は、お別れだ」という言葉を残し、ヴェノムはゼノファージもろとも強い酸で溶かされていきました。ヴェノムは世界とエディを守るために、自らの命を投げ打ったのです。 はじめは互いを排斥しようとしていた2人が、シリーズを通して「俺たちはヴェノム」という関係を築いてきた道のりを振り返ると、このラストは胸に迫るものがあります。たとえヴェノムが死んでも、エディがいるかぎり「俺たち」は生きつづけるのです。 すべてが終わったあと、エディはヴェノムと2人で来ようと約束していたニューヨークへ。ヴェノムとの思い出に浸りながら歩いていたエディは、ヴェノムが見たいと言っていた自由の女神をひとり眺めるのでした。 【ネタバレ】「ヴェノム3：ザ・ラストダンス」クレジットシーン 【ミッドクレジット】ヌル復活への伏線？ ミッドクレジットシーンでは、場面はクリンター星へと移ります。そこには未だ牢からの脱出をあきらめていないヌルの姿が。そしてヌルは「黒の王」の復活を高らかに宣言するのでした。 本作でのヌルの登場はほんの顔見せ程度となっており、コミックではサノス級の大物ヴィランである彼は、今後のSSU(ソニー・スパイダーマン・ユニバース)作品に登場する可能性が非常に高いです。 しかし彼が囚われている牢の鍵となるコーデックスはヴェノムの死によって消滅してしまったので、ヌルがどのように解放されるのかに注目が集まります。 【ポストクレジット】シンビオートは消滅していなかった ポストクレジットシーンでは、冒頭でエディたちと話していたバーテンダーがゼノファージの襲撃により廃墟となったエリア51に空いた穴から這い出てきます。 エディたちを追跡しバーにやってきたストリックランド将軍が彼を連行していたため、彼もエリア51にいたのでした。困惑した様子の彼は、混乱のなか職員から忘れ去られていたようですね。 走って逃げる彼の後ろ姿とともに、ペイン博士(ジュノー・テンプル)に寄生していたシンビオートが入っていた試験管の中で、稲光のようなものが光るのでした。 ゼノファージとの戦いで活躍したペイン博士とシンビオートの共生体は、まだ生きているようなので、今後のSSU作品に登場する可能性が高いと言えるでしょう。 「ヴェノム3：ザ・ラストダンス」楽曲に隠された意味 Queen『Don't Stop Me Now』 ヴェノムが馬に寄生して走り出すシーンでは、日本でも親しみのあるQueenの『Don't Stop Me Now』が使われています。 「俺は空に飛び込む流れ星/虎のように重力の法則に抗って」という歌詞のように崖から飛び降りたり、とにかく止められないヴェノムの高揚した気分を表しているようであります。 疾走感のある曲に乗せて、荒野を駆け回る馬ヴェノム。エディは必死にしがみつくのがやっとです。有名な曲だけに、テンションが上がった人も多いのではないでしょうか。 Maroon5『Memories』 ニューヨークにたどり着いたエディが1人で街を歩くシーンで流れているのは、Maroon5の『Memories』です。 「分かち合った思い出に乾杯/叶わなかった願いに乾杯/飲めば思い出がよみがえるから/ともに経験してきたあらゆる思い出が」という歌詞は、ヴェノムとの日々を思い返しながら歩くエディの表情にピッタリとマッチしています。 歌詞にあるとおり、エディは「永遠を信じていたんだ/なにも変わらず/すべてが同じままだと」と、ヴェノムとの別れを想像したこともなかったのではないでしょうか。 エディが酒を飲みながら、ヴェノムを思い出して泣いている姿すら想像できてしまいます。 Tom Morello x grandson『One Last Dance』 エンディングで最初に流れるTom Morello x grandsonの『One Last Dance』は、本作のために書き下ろされた曲です。 「倒れる前に最後のダンスを踊らせて」「今のところ次はない」「これが最後のカーテンコール」という歌詞は、本作が「ヴェノム」シリーズの最終章であることを強く印象づけます。 【感想】ヴェノムとの思い出を胸に生きていくエディ ©2021 CTMG. © & ™ 2021 MARVEL. All Rights Reserved.『ヴェノム：ザ・ラストダンス』は、エディとヴェノムの冒険の最後を飾るにふさわしい作品でした。1作目のヴェノムのギャップ萌えからはじまり、これまで2人が築き上げてきた友情、文字通り「2人で1人」というバディ感の行き着く先が、ヴェノムが自己犠牲によってエディを守るという展開なのが本当に泣けます。 また本作は、エディの元婚約者アニーが登場しなかったことで、よりエディとヴェノム2人の関係にフォーカスしています。 「ヴェノム」シリーズは、もはやブロマンスというよりロマコメのようでもあります。1作目で出会い意気投合した2人が、2作目で倦怠期を迎えながらもやはりお互いの大切さを痛感し、そして本作で最後の別れを迎えますが、思い出はエディの心に残りつづけるのです。 「ヴェノム3：ザ・ラストダンス」の続編の可能性は？ ヴェノムが死んだことでエディとヴェノムの物語は本作で完結したことは間違いなく、2人が主人公となる続編の可能性はほぼないでしょう。 ミッドクレジットではヌルが、ポストクレジットではほかのシンビオートの存在がほのめかされており、今後は彼らが登場する物語が紡がれていくのではないでしょうか。 ヴェノムは本当に死亡した？可能性を考察 ヴェノムが本作で死亡したことはほぼ確実ですが、この見出しではヴェノム生存のわずかな可能性について考察していきます。 まず、注目したいのは「ヴェノム2」のクレジットシーンでアース616（MCUの世界線）に残されたヴェノムの一部です。 「ヴェノム3」ではこのシーンはカットされてしまいましたが、生き残る為に自分の一部をいくつかの場所に残すというシンビオートの性質を踏まえると、ヴェノムの欠片がまだどこかにあるという可能性はゼロではないと言えるでしょう。 ヴェノムの欠片が別の宿主に取り込まれた場合は、性格や能力も以前とは変わってしまいますが、ファンとしては生き残ったエディとヴェノムが再開する未来を期待したくなりますね。そう考えると、「今は、さよならっていうエディムの最後のセリフは嘘ではないのかもしれません。 「ヴェノム3：ザ・ラストダンス」のくわしいネタバレあらすじ【起】2つの勢力に追われるエディとヴェノム クリンター星。幽閉されている邪神ヌルは、牢の鍵であるコーデックスを探すため、部下のゼノファージたちを全宇宙に送り出します。 一方、メキシコでパーテンダーから「紫の宇宙人」の話を聞いていたエディ(トム・ハーディ)とヴェノムは、突然光の輪に吸い込まれ、もとの世界に戻ってきました。喜びも束の間、2人はマリガン刑事(スティーヴン・グレアム)を殺害した容疑で、自分たちが全米指名手配になっていることを知ります。サンフランシスコに戻れなくなった彼らは、ヴェノムの提案でニューヨークを目指すことに。 一方、閉鎖が決まったエリア51では、ストリックランド将軍(キウェテル・イジョフォー)の指揮のもと、強力な酸を出す巨大な機械で様々な証拠を跡形もなく処分していました。しかし地下の研究施設では宇宙人の研究・インベリウム計画がつづいており、多くのシンビオートが囚われています。 責任者であるペイン博士(ジュノー・テンプル)は、瀕死の状態だったマリガン刑事にシンビオートを寄生させる実験を行います。すると彼はシンビオート共生体をして覚醒し、「宇宙でヴェノムしか持っていないもの」を狙って、ゼノファージが地球に迫っていると告げました。 これを聞いたストリックランド将軍は、エディに寄生しているヴェノムを確保するため、部下を派遣します。 【承】ラスベガスでまさかの再会 ニューヨークへの逃亡の最中、エディとヴェノムは飛行機にしがみついて移動していました。しかしそこにゼノファージが現れます。なんとか攻撃をかわし、砂漠に着陸した2人でしたが、ヴェノムはゼノファージがコーデックスを狙っていることに気がつきます。完全体になるとゼノファージに見つかってしまうため、できるだけエディの姿で移動することに。 しかしそれななかエリア51の部隊が現れ、2人を追い始めます。川に転落し、激しい追跡を逃れようとするエディとヴェノム。しかし完全体となって部隊と戦っているとゼノファージも姿を現します。2つの勢力と戦いながら、2人はなんとか逃げ切りました。 川から脱出した彼らは、解体される前にエリア51を見ようと旅をしていたマーティン(リス・エヴァンス)一家に遭遇します。事情を話すと、彼らはラスベガスまでなら送っていくと言ってくれました。 2人はラスベガスで思いがけずミセス・チェン(ペギー・ルー)と再会します。カジノで大勝ちした彼女は、宿泊しているスイートルームに2人を招きました。ヴェノムが楽しく踊っていると、気配を察知したゼノファージが襲ってきます。そこへエリア51の部隊も現れ、エディとヴェノムは捕まってしまいました。 【転】エリア51でシンビオートの仲間と合流 ゼノファージの脅威を目の当たりにしたことで、ストリックランド将軍はインベリウム計画の全権を与えられ、ペイン博士に計画の中止を命じます。 一方、ヴェノムから引き離されマリガン刑事と再会したエディは、シンビオートの仲間がここにいる間に、なんとしてもゼノファージからコーデックスを守らなければならないと忠告されました。 しかしその後、ゼノファージが施設内に侵入。再びヴェノムと合流したエディはほかのシンビオートたちを解放し、基地からの脱出を試みます。シンビオートたちは研究員たちに寄生し、ゼノファージに戦い挑みます。そんななか、こっそり基地に侵入していたマーティン一家と再会したエディとヴェノムは、ペイン博士の協力で、なんとか彼らを逃がすことに成功しました。 【結末】ゼノファージとの最終決戦！そして…… ゼノファージに立ち向かっていったシンビオートたちが次々と返り討ちにされるなか、ストリックランド将軍は、強い酸の出る巨大な装置でゼノファージを倒す計画をエディたちに話します。 エディとヴェノムはゼノファージを装置のもとへおびき寄せるため、バイクで基地内を疾走。まんまと引っかかったゼノファージを装置のそばまで連れて行くことに成功すると、ヴェノムはゼノファージに寄生し、装置の中へ。エディははじき出され、ヴェノムは彼に別れを告げます。 ヴェノムは抵抗するゼノファージを押さえつけながら、はじき飛ばされたストリックランド将軍を触手で連れ戻し、再び装置を稼働させます。そしてヴェノムはゼノファージとともに酸に溶かされていきました。 すべてが終わり解放されたエディは、1人でニューヨークに向かいます。ヴェノムとの日々を思い返しながら、彼は自由の女神を眺めるのでした。 結末について詳しく知る「ヴェノム」シリーズのネタバレあらすじをおさらい『ヴェノム』(2018年) ©&TM 2018 MARVEL サンフランシスコに住むジャーナリストのエディは、ライフ財団がホームレスを使って危険な人体実験を行っているという情報を手に入れ、財団の代表であるカールトン・ドレイク(リズ・アーメッド)を問い詰めます。しかしそのことで会社をクビになってしまいました。 半年後、良心の呵責に耐えられなくなったドーラ・スカース博士(ジェニー・スレイト)の手引きにより、エディはライフ財団の研究所に侵入。被験者となっていた顔見知りのホームレス女性を助けようとしたエディは、宇宙生命体シンビオートに寄生されてしまいました。 体の急激な変化に戸惑うエディでしたが、シンビオートは彼を気に入り、2人は1つの体を共有する「ヴェノム」となります。 そんななか、別のシンビオートがドレイクに寄生。シンビオートと融合すれば人類は宇宙空間でも生きていけると信じるドレイクは、さらに多くのシンビオートを地球に連れてくるためロケットを飛ばすことに。しかしシンビオートの狙いは地球で人間を捕食することでした。 ロケット発射を阻止するため研究所に向かったエディたちは、彼のかつての婚約者アン・ウェイング(ミシェル・ウィリアムズ)の協力でドレイクらを止めることに成功。 その後、エディはヴェノムに悪人以外は食べないと約束させ、共生することにします。 『ヴェノム：レット・ザア・ビー・カーネイジ』(2021年) ©2021 CTMG. © & ™ 2021 MARVEL. All Rights Reserved. 前作以降、人間を食べたい衝動を抑えきれず暴れまわるヴェノムに手を焼きながら、なんとか共同生活を送っていたエディ。 ある日彼は記者としての再起をかけ、連続殺人鬼クレタス・キャサディ(ウディ・ハレルソン)の取材に臨みます。エディはヴェノムの協力で未発見だったキャサディの被害者の遺体の場所を言い当て、その死刑が確定します。 しかし次の取材でキャサディに挑発され、激怒したヴェノムが彼に掴みかかり、取材は台無しに。その後エディとケンカ別れし、ヴェノムは新たな寄主を探します。しかしエディに代わる寄主はなかなか見つかりません。 一方、トラブルの際にエディに噛みついたキャサディは、死刑執行中にシンビオート寄生体「カーネイジ」として覚醒。脱獄したカーネイジは、若い頃に引き離されたキャサディの恋人フランシス・パリソン(ナオミ・ハリス)を探して、街中で殺戮をくり返します。彼らはフランシスを見つけますが、彼女の超音波を出す能力は、シンビオートとは相性最悪でした。 その後、アンの協力で再会したエディとヴェノムは、力を合わせてカーネイジに立ち向かうことに。終始カーネイジの強さに押される彼らでしたが、キャサディとシンビオートが「共生」していないことを見抜き、勝利を収めます。 『ヴェノム3：ザ・ラストダンス』でエディたちの最後を見逃すな ©2021 CTMG. © & ™ 2021 MARVEL. All Rights Reserved. 恐ろしい見た目とは裏腹に愛嬌のあるヴェノムとエディの掛け合いが魅力の「ヴェノム」シリーズ。その完結編となる『ヴェノム：ザ・ラストダンス』で、エディたちの活躍は一旦見納めになると言われています。 一方で本作のヴィランであるヌルは、コミックではサノスと同等の大物で、この1作で彼の物語が終わるわけではなさそう。今後、ソニー・スパイダーマン・ユニバースのほかの作品とつながっていくかもしれません。 『ヴェノム：ザ・ラストダンス』は2024年10月25日(金)、26日(土)、27日(日)に先行上映。11月1日(金)全国公開です。 『アベンジャーズ：エンドゲーム』で壮大なインフィニティ・サーガが幕を閉じたMCU。「アベンジャーズ6」へと続くフェーズ5、6ではどんな作品が待っているのでしょうか？ 本記事ではMCUの2025年以降の公開作品を最新情報を紹介していきます！また、MCU以外のマーベル・コミック原作映画の新作も見ていきましょう。 マーベル作品をお得に観るならこちら マーベル作品を無料で視聴したい人は、圧倒的にディズニープラスがおすすめです。 ディズニープラスでは、「アベンジャーズ」シリーズだけでなく、関連キャラクターたちのオリジナルドラマや未公開映像も独占配信中です！特に『ロキ』や『ワンダ・ヴィジョン』などは、新作マーベル映画を楽しむためには要チェックですよ！しかし、ディズニープラスの魅力はそれだけではありません。下記は本サービスの実際の画面なのですが、なんとマーベル作品がフェーズごとにまとめられているのです！ ディズニープラスを活用すれば、初心者の人もベテランの人を、マーベルの世界を最大限味わえるでしょう！ 【最新】2025～2027年のマーベル映画・ドラマの公開予定 最新のマーベル映画の公開スケジュール 最新のマーベル映画は何？ 最新のMCU作品は2月14日公開の『キャプテン・アメリカ：ブレイブ・ニュー・ワールド』です。 ドラマ『ファルコン＆ウィンターソルジャー』を経て新たなアメリカの象徴となったファルコンがアメリカ全土を巻き込む陰謀に立ち向かいます。さらに、あのハリソン・フォードが、アベンジャーズを嫌うサディアス・ロスとしてMCUに初登場！ ドラマに引き続き、社会派でシリアスな作風に期待が高まりますね。 今後の公開予定は？ 次に劇場公開するMCU作品は5月2日公開の「サンダーボルツ」です。 ブラック・ウィドウの妹・エレーナを中心に、MCU作品のヴィランたちがアッセンブル！ヴィランになりざるをえなかった悲しい過去を持つ彼らが挑むミッションとは？ メンバーは、元ヒドラの改造兵、バッキー・バーンズ、ブラック・ウィドウの養父レッド・ガーディアン、キャプテン・アメリカになれなかった男USエージェント、『ブラック・ウィドウ』のヴィラン・タスクマスター、『アントマン＆ワスプ』のヴィラン・ゴーストの6名。 さらに、多くの悪事を裏から手引きし、アベンジャーズ・タワーを買い取った謎多き人物・ヴィルも登場予定です。 【フェーズ5】マーベル映画の公開予定スケジュール 2022年7月に開催されたサン・ディエゴ・コミコンでマーベルが発表したところによれば、フェーズ5は映画4作とドラマシリーズ6作品で構成されていることがわかっています。その後変更等もあり、フェーズ5は映画7作、ドラマ＆アニメシリーズ13作で構成されています。 「マルチバース・サーガ」の下準備として丁寧に積み上げられてきたフェーズ5。2025年以降の公開予定作には、どんな作品があるのか見ていきましょう。 『キャプテン・アメリカ：ブレイブ・ニュー・ワールド』(2025年2月14日全米公開) 「キャプテン・アメリカ」シリーズ4作目となるのが本作「ブレイブ・ニュー・ワールド」です。といっても、これまでスティーブ・ロジャース/キャプテン・アメリカを演じてきたクリス・エヴァンスは、「エンドゲーム」をもってMCUを卒業済み。新作のストーリーはドラマシリーズ『ファルコン＆ウィンターソルジャー』から引き継がれ、アンソニ・マッキー演じるサム・ウィルソンが主人公となります。 ハリソン・フォード演じるサディアス・ロスが、アメリカ大統領としてキャプテン・アメリカへ立ち向かうとのこと。また『ファルコン＆ウィンターソルジャー』のイザイア・ブラッドリーも登場するようです。 脚本を務めるのは、同ドラマを手がけたマルコム・スペルマンが抜擢されています。 『サンダーボルツ*』(2025年GW公開) サンダーボルツは、政府の依頼を受けて任務に挑むヴィランチームです。ワルいアベンジャーズとも言ったところですが、ドラマで語られた彼らの過去を踏まえるとただの「悪」とは言い切れなそうです。 チームのメンバーは、『ブラック・ウィドウ』に登場したエレーナ・ベロワとレッド・ガーディアン、タスクマスター、『アントマン＆ワスプ』のゴースト、ドラマ『ファルコン＆ウィンターソルジャー』のUSエージェントとヴァレンティーナ・アレグラ・デ・フォンテーヌ。 そしてウィンター・ソルジャーことバッキー・バーンズも参加します。 【フェーズ6－】マーベル映画の公開予定スケジュール フェーズ6には、新たな「アベンジャーズ」2作品を含む6作品が予定されています。また、フェーズ4からフェーズ6までが新たな「マルチバース・サーガ」となると発表されており、新たな脅威が見え隠れしています。 制作が発表された「アベンジャーズ」シリーズ5作目『アベンジャーズ：ザ・カーン・ダイナスティ(原題)』は、さまざまな事情によって『アベンジャーズ：ドゥームズデイ(原題)』にタイトル変更。それにともなって、ヴィランも征服者カーンから、ドクター・ドゥームに変更されました。そしてその『ドクター・ドゥーム』を演じるのは、まさかのあの人！ また6作目のタイトルは『アベンジャーズ：シークレット・ウォーズ(原題)』であることも発表されています。 マルチバースをテーマにした新たなサーガがどのように幕を閉じるのか、楽しみですね。 『ファンタスティック4：ファースト・ステップ(原題)』(2025年5月2日全米公開) Marvel Studios(@marvelstudios)がシェアした投稿 マーベル・コミック最初期のヒーローチームである「ファンタスティック・フォー」の映画は、2005年と2007年にシリーズ2作、2015年にリブート版の計3本が製作されています。しかしいずれも批評家の評価はあまり良くなく、興行収入も伸び悩み、続編の製作が見送られていました。 そんな「ファンタスティック・フォー」がMCUの作品として新たに製作されます。監督は『ワンダヴィジョン』のマット・シャックマンに正式決定。 全身が伸縮自在のミスター・ファンタスティック、身体を透明にすることができるインビジブル・ウーマン、自ら炎に包まれる能力を持つヒューマン・トーチ、岩のような身体で怪力を発揮するザ・シングの4人からなるファンタスティック・フォー。 キャストはまだ発表されていませんが、ケヴィン・ファイギは2021年8月に、本作のキャストは“新人俳優とベテラン俳優のハイブリッド”になると、Comicbook.comのインタビューで語りました。 『アベンジャーズ：ドゥームズデイ』(2026年5月1日全米公開予定) Marvel Studios(@marvelstudios)がシェアした投稿 「アベンジャーズ」シリーズ第5作目となる『アベンジャーズ：ドゥームズデイ(原題)』は、2025年5月2日に全米公開予定となっています。 もとは、「ザ・カーン・ダイナスティ」というタイトルで30世紀の未来からやってきたヴィラン・征服者カーンと、アベンジャーズの戦いが描かれる予定でした。しかし、「アントマン」3作目でカーン演じたジョナサン・メジャースが、DV疑惑によって降板。タイトルも「ドゥームズデイ」に変更されました。 新たなヴィランとなるのは、ファンタスティック・フォーでおなじみのヴィラン、ドクター・ドゥームです。タイムマシンを作った天才科学者兼魔術師のドクター・ドゥームを演じるのは、なんとロバート・ダウニー・Jr。アイアンマン(トニー・スターク)を演じ、「エンドゲーム」で卒業した彼がMCUへ再び帰ってきます！ 監督は『シャン・チー/テン・リングスの伝説』のデスティン・ダニエル・クレットンが務めます。 『スパイダーマン4』(2026年7月24日全米公開予定) 『スパイダーマン：ノー・ウェイ・ホーム』(2021年)で苦渋の選択をし、ヒーローとして生きることを決意したピーター・パーカー。そんな彼のその後を描く『スパイダーマン4』が2026年夏に公開予定となっています。 本作では、これまでMCUでスパイダーマンを演じてきたトム・ホランドが続投。彼は映画の草稿を読み、「本当に心に火がついた」と語っています。 監督を務めるのは『シャン・チー/テン・リングスの伝説』(2021年)のデスティン・ダニエル・クレットン。プロデューサーにはソニー・ピクチャーズのエイミー・パスカルとマーベル・スタジオのケヴィン・ファイギが名を連ねています。 『アベンジャーズ：シークレット・ウォーズ』(2027年5月7日全米公開予定) Marvel Studios(@marvelstudios)がシェアした投稿 フェーズ6のしめくくりとなるのは、『アベンジャーズ：シークレット・ウォーズ(原題)』。原作コミックでは、マルチバースで異なる世界が衝突する「インカージョン」が起き、それぞれの世界のヒーローやヴィランが激突する戦いが描かれました。 本作の監督やキャストはまだ発表されていません。フェーズ4以降に登場した新ヒーローはもちろん、ソーやハルク、ドクター・ストレンジなどの活躍も期待したいですね。 『ブレイド(原題)』(公開日未定) 「元祖マーベル映画」といわれる「ブレイド」シリーズは、人間とヴァンパイアの間に生まれた無人男性が邪悪なヴァンパイアを狩る「ヴァンパイア・ハンター」として活躍する物語。主役を演じたウェズリー・スナイプスのクールなアクションを記憶している人もいるのではないでしょうか。 今回のMCU版でブレイド役を務めるのは、なんと過去に2度のオスカーに輝いたマハーシャラ・アリ。2021年2月には、脚本家にドラマ『ウォッチメン』(2019年)のスティシー・オセイ・クフォーが就任したことが明らかになり、同年9月には新進気鋭のバッサム・タークリが監督に就任したことがわかりました。 「シャン・チー」続編(公開日未定) フェーズ4に入って登場したばかりの新ヒーロー、シャン・チーの続編もすでに製作が決定しています。 2021年12月に米Deadlineが報じたところによると、1作目の公開当初から噂されてきた続編の製作が正式に決定し、1作目の監督・脚本を務めたデスティン・ダニエル・クレットンと、主演のシム・リウが続投するとのこと。 リウはこのニュースに「(1作目)大コケしたけど続編決まったよ！」と、冗談交じりにツイートしました。 MCU版「X-MEN」(公開日未定) かねてから期待されていたX-MENのMCU入り。2024年の『デッドプール＆ウルヴァリン』では、一足先にヒュー・ジャックマン演じるウルヴァリンが登場するなど、いよいよ現実味を帯びてきました。 MCU版「X-MEN」の詳細はまだ不明ですが、2024年11月20日に開催されたディズニー・コンテンツ・ショーケース APAC 2024で、ケヴィン・ファイギは『アベンジャーズ：シークレット・ウォーズ』の物語がミュータント新時代、そしてX-MENの時代に直結します」と発言しています。 一大ブームを巻き起こしたX-MENがMCUでどう活躍するのか、今から期待が高まります！ 【MCU以外】マーベルコミックを原作とした映画ラインナップ 『スパイダーマン：ビヨンド・ザ・スパイダーバース』(公開日未定) 2024年に公開された『スパイダーマン：アクロス・ザ・スパイダース』の後編となる『スパイダーマン：ビヨンド・ザ・スパイダース』が2025年に公開されます。 前作で「愛する人を失って、初めて本物のヒーローになる」というスパイダーマンの哀しき運命を知ったマイルス。彼はその運命に逆らい、父と世界の両方を救うことを決意します。しかしそれはほかのユニバースのスパイダーマンたちにとって、「ヒーローにはならない」と宣言したのと同じこと。彼はすべてのスパイダーマンから追われる身となってしまいました。 果たしてマイルスは愛する父を救い、同時に世界を救うことができるのでしょうか？ ストーリーはもちろん、シリーズ1作目『スパイダーマン：スパイダーバース』(2019年)でアカデミー賞視覚効果賞を受賞した、斬新で勢いのある映像のさらなる進化にも注目です。 「X-フォース」(公開日未定) 『デッドプール2』(2018年)で結成されたヒーローチームの活躍を描く、スピンオフ作品「Xフォース」の制作企画も2018年に発表されました。 しかし「あれ、Xフォースって『デッドプール2』で……」と思った人もいるでしょう。2021年1月現在までに発表されたキャストは、ケーブル役のジョシュ・ブローリン、ドミノ役のザジー・ビーツ、そしてデッドプール役のライアン・レイノルズのみ。 また本作の監督・脚本は、映画『オデッセイ』(2015年)やNetflixのマーベルドラマシリーズ『デアデビル』(2015年～2018年)、『ディフェンダーズ』(2017年)で脚本を担当したドリュー・ゴダードに決定しています。 それ以外には、時系列が『デッドプール3』より前であることしかわっていません。 2019年に「X-MEN」シリーズの権利元である20世紀フォックスがディズニーに買収されたため、「X-MEN」ユニバースの製作もディズニーが引き継いでいます。 ということは、X-MENと関わりの深いデッドプールの権利もディズニーに渡ったということで、「俺ちゃん」のMCU入りを熱望するファンも多数。 今後も破天荒ヒーローの活躍に期待したいですね！ 【SSU】打ち切り疑惑は本当？今後の公開予定はあるのか 『ヴェノム』 2018年 『ヴェノム：レット・ゼア・ビー・カーネイジ』 2021年 『モービウス』 2022年 『マダム・ウェブ』 2024年 『クレイヴン・ザ・ハンター』 2024年 マーベルコミックを原作とした作品を製作しているのはディズニー/マーベルだけではありません。スパイダーマン関連の映像化権はソニー・ピクチャーズが持っており、これまでのMCU「スパイダーマン」シリーズも、ソニーとの共同制作でした。 ソニーのマーベル映画は、「ソニーズ・スパイダーマン・ユニバース(SSC)」と呼ばれており、今までに「ヴェノム」シリーズや『モービウス』などヴィラン/アンチヒーローを主人公とした作品を製作しています。 しかし、2024年の『マダム・ウェブ』、『クレイヴン・ザ・ハンター』の度重なる興行失敗によって、シリーズ打ち切りが報じられています。 『エル・ムエルト(原題)』(公開日未定) マーベル映画初のラテン系ヒーローの活躍を描く『エル・ムエルト(原題)』。しかしSSU打ち切りにともない、2023年6月に無期限延期が発表されました。 エル・ムエルトことファン・カルロスは、超人パワーを持つプロレスラー。彼は家系に代々受け継がれたパワーとマスクを守るため、抑制者エルドラドにその力を証明しなければいけなくなります。 主演を務めるのはラッパーで俳優のバッド・バニー。彼は2021年にはWWEでプロレスデビューも果たしています。 2025年以降に公開予定のマーベル映画にも期待大！ フェーズ4では、エンドゲームからの立ち直りをテーマに、壮絶な終わりを告げたフェーズ3と、新たな脅威が大きくなるフェーズ5の橋渡しとしての役割を果たしました。 2023年から始まったフェーズ5は2025年にいよいよ終盤に差し掛かり、壮大なフェーズ6へとつながっていきます。 拡がりつづけるマルチバースやヒーローたちの活躍から、今後も目が離せませんね！ © 2025 MARVEL マーベル・シネマティック・ユニバース(MCU)フェーズ5作品のラストを飾る映画「サンダーボルツ」。2022年9月12日のD23 Expoでそのキャストが明かされ、そののち2025年5月2日に日米同時公開されることが発表されました！ この記事では、そんな本作のあらすじや主要キャストを徹底解説！さらに、原作や予習すべきMCU作品など、気になるポイントもしっかり紹介していきます。 ※この記事はMCU作品の重要なネタバレを含みます。 ※ciatr以外の外部サイトでこの記事を開くと、画像や表などが表示されないことがあります。 マーベル映画「サンダーボルツ」のあらすじ予想・基本情報 公開日 2025年5月2日(日米同時公開) 監督 ジェイク・シュライアー スタッフ エリック・ピアソン(脚本) 「サンダーボルツ」のあらすじ予想！アスタリスクの意味とは 「サンダーボルツ」の主要キャラたちは、様々な罪を犯してきた無法者です。本作ではそんな彼らがチームを組み、アベンジャーズに変わって世界を救うことになります。本予告には人々を消し去り、街を闇に陥れる謎の敵が登場。 サンダーボルツの面々がこの敵と戦いながら少しずつ絆を育み、人として成長していく姿が描かれるものと思われます。また、本作のタイトルにはなぜか「＊(アスタリスク)」が存在。これについて様々な憶測が飛び交っていましたが、その詳細ははっきりしないまま。 しかし、「*THE AVENGERS ARE NOT AVAILABLE」と表記されたポスターが公開され、その意味が少しずつわかってきました。この一文を直訳すると「アベンジャーズは来ない」。つまり、＊は「アベンジャーズに頼れない」という、サンダーボルツの孤独な在り方を示しているものと推測できます。 サンダーボルツってどんなチーム？ マーベルの「サンダーボルツ」とは、政府によって任務に派遣された悪役(ヴィラン)やアンチヒーロー、または更生した元悪役たちで結成されたチームのこと。マーベル版「スーサイドスクワッド」とも言われています。過去に実写化されたことはなく、今回が初めてです！ 「サンダーボルツ」の公開日はいつ？ 「サンダーボルツ」は、2025年5月2日日米同時公開予定となっています。 『キャプテン・アメリカ：ブレイブ・ニュー・ワールド』の次に公開されるため、この2作品には深い関連があるという噂も存在。両作品をチェックし、その真偽を是非確かめてみてください。 「サンダーボルツ」のメンバー・登場人物一覧！「アベンジャーズ5」にも出演！？ 「アベンジャーズ」待望の新作となるシリーズ第5作「ドゥームズデイ」が2026年5月に公開予定。解禁となったキャラクターの中には、エレーナ、バッキー・バーンズ、USエージェント、ゴースト、レッド・ガーディアン、ボブら「サンダーボルツ」のメンバーが含まれていました！ サンダーボルツ所属メンバー その他登場人物 映画「サンダーボルツ」のキャスト・キャラクターをさらに詳しく © 2025 MARVEL エレーナ・ベロワ役/フローレンス・ピュー Florence Pugh(@florencepugh)がシェアした投稿 2008年～2009年にマーベルコミックで展開された「ダークレイン」というストーリーで、新たな「サンダーボルツ」のメンバーの1人として選ばれたのが、2代目ブラック・ウィドウのエレーナ・ベロワでした。 MCUでは映画『ブラック・ウィドウ』で初登場。“レッドルーム”で訓練を受けた暗殺者で、ブラック・ウィドウ(ナターシャ・ロマノフ)の“妹”です。 サノスの指パッチンで消えていた彼女は、“姉”の死を受け入れられず、ナターシャの死はホークアイことクリント・バートンに責任があるという情報を得て、彼を狙います。その後ドラマ『ホークアイ』にも登場し、ホークアイと対峙することで姉の死のしがみを乗り越えました。 演じるのは、映画『ストーリー・オブ・マイライフ/わたしの若草物語』でアカデミー賞助演女優賞にノミネートされたイギリス人女優フローレンス・ピューです。 過去の出演作品 映画『ブラック・ウィドウ』(2021) ドラマ『ホークアイ』(2021) ウィンター・ソルジャー(バッキー・バーンズ)役/セバスチャン・スタン Sebastian Stan(@imsebastianstan)がシェアした投稿 「ウィンター・ソルジャー」ことバッキー・バーンズは、改造・洗脳された殺し屋。2016年の原作コミックスで、彼が主導となって「サンダーボルツ」を結成したことがありました。 MCUでは映画『キャプテン・アメリカ/ザ・ファースト・アベンジャー』で初登場して以降、数多くの作品に登場。秘密結社ヒドラによって殺し屋にされたオリジンから、ヒドラを離脱してヒーローとして歩んでいく姿まで描かれています。 ヒドラ『ファルコン＆ウィンター・ソルジャー』では、ファルコンことサム・ウィルソンが新たな“キャプテン・アメリカ”になる後押しをした彼。自身も洗脳が解けたことで過去のトラウマに苦しみ、その贖罪をしていく様子が描かれました。 サムとの友情は深りましたが、ワカンダに帰ることもできず、アベンジャーズも事実上の解散状態にある今、彼がどこでなにをしているのかは不明です。 演じるのは、映画『オデッセイ』などにも出演するルーマニア生まれのアメリカ人俳優セバス

ームやジョン、グレイ、ローグなどのミュータントの無法者が群がってきて、『アベンジャーズ/エンドゲーム』後のキャラクターストレンジなどの新作が山ほど出る予定だ。『ブラックパンサー』の主演のチャドウィック・ボーズマンが亡くなったことで、ブラックパンサーの続編はどうなるのか、ということも気になるところだ。ファンの間では、神聖到来の物語を新たに作ってほしい、という声が多くあがっています。そしてこれらの変革期を乗り越えて、『X-MEN』シリーズは、『ブラックパンサー』の続編ではなく、『ブラックパンサー』

ローラを主人公としたスピンオフ作品についても、制作の計画があったようです。しかしディズニーが20世紀フォックスを買収したことで、こちらの先行きは不透明に。 『ローラ(仮題)』は、R指定での制作が予定されていました。当時、ディズニーはR指定作品を作ることはないと言われていたため、この企画は立ち消えになったのかもしれません。しかし後に『デッドプール3』のR指定での制作にゴーサインが出たため、今後「ローラ」の企画も動き出す可能性があります。 映画「X-MEN」のおすすめの鑑賞順はこれだ！時系列以外でおさえておくべきポイントは？ 新三部作を見る前に旧三部作をおさらいすべし！ 「X-MEN」シリーズの時系列が入り組んでいてわかりにくい原因は、やはり「フューチャー＆パスト」で過去を改変したことにあります。新シリーズ1作目の「ファースト・ジェネレーション」は旧三部作の前日譚として時系列順に見ても無理なく楽しむことができますが、2作目「フューチャー＆パスト」は冒頭が旧三部作からつづいているため、ストーリーの発端がわかりにくいかもしれません。 ciatrとしては、まず旧三部作を公開順に観ることをおすすめします。 新シリーズは「ファースト・ジェネレーション」を鑑賞後、なんとなく旧三部作を思い出してから2作目の「フューチャー＆パスト」を。その後は公開順に観ていけば問題ありません。 ウルヴァリンのスピンオフを見たいならこの順番 ウルヴァリンのスピンオフシリーズは、『ウルヴァリン：X-MEN ZERO』、『ウルヴァリン：SAMURAI』、『LOGAN/ローガン』の3作品あります。これらは基本的に公開順と時系列が一致しているので、順番に観ればOK。 ただし2作目「SAMURAI」を観る前には、「ファイナル・ディシジョン」をおさらいしたほうがいいかもしれません。しかし3作目の「ローガン」は、キャラクターの設定さえおさえておけば、他の作品を観なくても楽しめるでしょう。 「デッドプール」シリーズは単独で楽しめる！ ©2018 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved. 2016年に第1作目が公開された「デッドプール」シリーズは、「X-MEN」シリーズのスピンオフですが、本家とのストーリー上のつながりはありません。 こちらはほかの「X-MEN」シリーズを観ていなくても、気軽に観られます。シリーズ内では公開順に観ていくのがおすすめです。 ただし、第3弾『デッドプール&ウルヴァリン』にはウルヴァリンのスピンオフ映画「ローガン」の登場人物やネタは数多く登場するため、3作目を見る際は事前に鑑賞しておくと、より楽しむことができるでしょう。 X-MENを今すぐ観るなら、ディズニープラスがおすすめ！ X-MENのようにシリーズ作品がいくつもあるものは、過去作品の復習が必須です。 そこで、今すぐX-MENをおトクに観たい方に朗報です！ ディズニープラスでは、この記事で紹介した「X-MEN」シリーズの全13作品が見放題！X-MENシリーズが気になっている人は、ディズニープラスでお得に全作品見てはどうでしょうか？ 「X-MEN」の順番を理解してシリーズをより楽しもう 「X-MEN」シリーズは、旧3部作と新3部作の2つの時間軸が存在し、それが微妙に交わっていることで複雑になってしまっています。 しかしこの記事を読んで、スッキリと整理することができたのではないでしょうか。 作品の時系列や特性を理解して、「X-MEN」シリーズをめいっぱい楽しみましょう！ マーベル・シネマティック・ユニバース(MCU)のフェーズ4から、耳にするようになった「マルチバース」という言葉。フェーズ4からフェーズ6は「マルチバース・サーガ」と題されていることもあり、マルチバースは今後の展開のカギを握るコンセプトです。 謎の多いマルチバースとは一体なんなのか？また、マルチバースに関連する用語やエピソードについて紹介していきます。 ※この記事には、MCU作品のネタバレを含みます。 マルチバースとは？ マーベルにおけるマルチバース マルチバースとは、自分たちのいる世界と別の世界が並行して複数存在している、という多元宇宙理論の考え方。簡潔に説明すると「マルチバース＝パラレルワールド」と捉えることができます。 マーベルの世界では、一つ一つの世界を「バース」と呼び、別のバースには性格や見た目が違う自分が存在。さらに、歴史や地形なども違うため、バースごとに文化が異なります。 MCUの正史はアース616 数多あるバースの中で、MCUの存在するバースは「アース616」となっています。原作となっているコミックは「アース199999」ですが、MCUではコミックにおいてもメインのバースである「アース616」のネーミングを使っています。 また、MCUのバースが「アース616」であることが劇中の多くのシーンで確認できます。例えば、ドラマ『ロキ』ではメビウスのビデオリーに「ETH-616」と書かれてたり、『ブラックパンサー』プロデューサーのネイト・ムーアもMCU作品の舞台がアース616であると話していました。 MCUのマルチバースを理解するための4つのポイント ①神聖時間軸とマルチバースの違いは？ ドラマ『ロキ』では重要なキーワードとして「神聖時間軸」という言葉が出てきます。 ドラマではTVAという機関が、この神聖時間軸から新たな世界線の分岐が起きたり、数あるバースと交わらないように見張っていました。そしてTVAによって正史として守られてきた神聖時間軸というのが、MCUが今まで描いてきたバース、「アース616」であることがわかりました。 さらにマーベルの今までの発言を踏まえると、マルチバースと神聖時間軸には差異はありつつも、両者はほぼ同じものだと言えます。ここから、フェーズ3までのMCU作品に、他のバースからの介入がなかった理由は、TVAがこのバースを神聖時間軸として守っていたからだとわかります。 ②マルチバース化のきっかけはロキ？ © 2021 Marvel ドラマ『ロキ』では、ストーリー終盤に「在り続ける者」という人物が登場。彼は神聖時間軸の管理者としてロキとシルヴィの前に現れました。そして在り続ける者は2人に「神聖時間軸の管理をするか、俺を殺して別世界の変異体と戦うか」の選択を迫います。 ロキは管理者になることを選びますが、シルヴィは復讐を果たすため在り続ける者を殺害。時間軸を守る者がいなくなり、今まで1つだった時間軸が幾多に分岐していきます。 その結果、宇宙のマルチバース化が起こったのです。 つまり、『ロキ』がきっかけで、サム・ライミ版スパイダーマンがいる「アース96283」や、「マルチバース・オブ・マッドネス」でストレンジとアメリカ・チャベスが訪れた「アース838」が生まれたということになりますね。 ③インカージョン インカージョンとは2つのユニバースが干渉し、衝突する現象のことです。 「マルチバース・オブ・マッドネス」では「アース838」のストレンジが、サノスを倒す方法としてドリーム・ウォークを実行したためインカージョンが起きました。その結果、「アース838」と衝突した世界が破壊されます。 イルミナティのメンバーであるリード・リチャーズいわく、インカージョンが起きてしまった場合、衝突を防ぐ方法はなく、どちらか一方の世界を破壊する必要があるそうです。 この、ユニバースの存続をかけてそれぞれのヒーローたちが闘うというストーリーがコミックの「シークレット・ウォーズ」で描かれています。2025年に公開予定の『アベンジャーズ：シークレット・ウォーズ』は、コミックと同じタイトルであることから、「アベンジャーズ6」には、インカージョンが関わりそうです。 ④ポケットディメンション ポケットディメンションとは、同じバースの中に存在する違う世界のこと。 『ドクター・ストレンジ』で登場したアストラル体でしか行けないアストラル・プレーンの世界や、『アントマン&ワスプ』でお披露目された量子世界もポケットディメンションの1つです。 ちなみに、ファンタスティック・フォーのリード・リチャーズの息子フランクリン・リチャーズは、ポケットディメンションを自由に作り出すことができます。今後のMCU作品で登場すれば、活躍が期待できそうですね。 MCU作品におけるマルチバースエピソード ①『アベンジャーズ/エンドゲーム』 作中ではアントマン考案のタイム泥棒作戦で、アベンジャーズが過去からインフィニティ・ストーンを回収しに行きます。 アイアマンやキャプテンアメリカは2012年のニューヨークへ向かいますが、ハルクの邪魔が入りスペース・ストーンがロキに持ち出されてしまいました。 その結果ロキはTVAに連行され、時間軸が分岐します。 そしてもう1つのマルチバースエピソードとして、キャプテンアメリカがインフィニティ・ストーンを元の世界に戻すというものがありますよね。 過去に行った際にキャプテンアメリカは余生をベギー・カーターと過ごし、新たな分岐を示唆しました。 ②『ロキ』 © 2021 Marvel『ロキ』で新たに出てきた神聖時間軸という言葉。そして作中では変異体と呼ばれる別世界のロキが何人も登場しています。ストーリー後半からは神聖時間軸と変異体の中に物語が進んでいき、まるでマルチバースがテーマのようになっていました。 さらにラストに登場した「在り続ける者」の正体は、ナサニエル・リチャーズという征服者カーンの変異体でしたね。ポストクレジットではメビウスがロキのことを知らない人物だと言い、TVAに征服者カーンの鎖像が建てられていました。 すでに制作が決定しているシーズン2で、全ての謎が明かされるはずです。 ③『ホワット・イフ…？』 MCUの世界で実際には起こらなかった“もしも”の展開を描いた『ホワット・イフ…？』。 「もしも…キャプテンカーターがファースト・アベンジャーだったら？」「もしも…ドクター・ストレンジが手の代わりに恋人を失ったら？」など、アース616の並行世界を体験できます。マルチバースの楽しさが分かる一作となっているので、MCUファンには本当におすすめの作品です！ そんな本作のラストエピソードでは、今まで登場したヒーローがウォッチャーによって集結。違うバースのヒーローが力を合わせて超ヴィランと戦う展開は、サーガと共通するかもしれませんね。 ④『スパイダーマン：ノー・ウェー・ホーム』 ©2021 CTMG. © & ™ 2021 MARVEL. All Rights Reserved. サム・ライミ版スパイダーマンでピーターを演じたトビー・マグワイアと、マーク・ウェブ版スパイダーマンでピーターを演じたアンドリュー・ガーフィールドが登場するというふたりでもない偉業を成し遂げた『スパイダーマン：ノー・ウェー・ホーム』。 そんな本作は、マルチバースの存在がMCUで初めて確認された作品でもあります。ストレンジの魔術によってマルチバースの扉が開き、グリーン・ゴブリンやエレクトロなど過去作のヴィランが登場し多くのファンを興奮させましたよね！ マルチバースの設定を存分に活かしたストーリーだからこそ、シリーズ最高傑作と評価されるようになりました。 ⑤『ドクターストレンジ：マルチバース・オブ・マッドネス』 タイトルにもある通り、マルチバースをテーマにストーリーが展開していった本作。作中ではマルチバースを自由に行き来できる少女アメリカ・チャベスと出会ったストレンジが、彼女の能力を奪おうとするワンダことスカーレット・ウィッチと戦います。 その際にストレンジはさまざまなマルチバースを通過しており、最終的に行き着いたアース838でバースに介入する危険性を知りました。そしてポストクレジットでは謎の女性が登場し、共にインカージョンを止める旅に出ることに。 今後もストレンジが本サーガのキーパーソンになると思われます。 マーベルの「マルチバース・サーガ」の展望を考察 「マルチバース・サーガ」のキーパーソンは？ フェーズ4から新たに「マルチバース・サーガ」に突入することが明らかになったMCU。テーマの通りフェーズ4からフェーズ6までは、バースを巻き込んだ大規模な戦闘が繰り広げられることは確実です。 そのためマルチバースを自由に行き来できるアメリカ・チャベスや、「マルチバース・オブ・マッドネス」のポストクレジットに登場した謎の女性、そしてマルチバースを体験したストレンジが今後のMCUにおけるキーパーソンになると考えられます。 サーガのボスは、サノス以上の強敵？ 2022年のサンディエゴ・コミコンで、『アベンジャーズ：ザ・カーン・ダイナスティ』の公開が発表されました。本作はアベンジャーズシリーズの第5弾にあたり、タイトルから「征服者カーン」がヴィランとして登場することが示唆されています。 征服者カーンと言えば『ロキ』では変異体「在り続ける者」として登場しており、2023年公開予定の「アントマン3」にも登場する超ヴィランです。征服者カーン自身もタイムトラベルによってマルチバースに深く関わっている人物なので、過去最大級のヴィランとして立ちふさがるはずです。 「マルチバース・サーガ」で回収を期待したい伏線 ドクター・ストレンジとインカージョン「マルチバース・オブ・マッドネス」のポストクレジットで謎の女性が登場し、ストレンジに対して「インカージョンを修復しないと」と伝えました。そしてストレンジは女性が開いたポータルに入り、どこかへ向かいます。 なぜインカージョンが起きたのか、なぜストレンジが協力することになったのか、そもそもこの女性は何者なのかなど多くの謎が残っていますよね。 今後の作品で解明されるのを待ちましょう！ アベンジャーズの要、ニック・フューリーは何処に？ 長らく姿を見せていないフューリーは何処で何をしているのでしょうか？ 『スパイダーマン：ファー・フロム・ホーム』ではピーターの前に現れ、トニーの遺品を渡したりエレメンタルズを倒す計画を練ったりしていました。しかしこのフューリーの正体は、彼に変身したスクラル人・タロスであることが明らかになります。 肝心のフューリーはなぜか宇宙ステーションらしきものの中でくつろいでいました。フューリーのことなので、何かしら目的があって宇宙にいるはずです。 フューリーが宇宙規模の脅威にすでに気づいていて、あらたなアベンジャーズを探しているとも考えられますね。 「X-MEN」シリーズとの合流は？ ファンの間では、MCUにあの「X-MEN」が合流すると噂されています。その理由として、ドラマ『ワンダヴィジョン』にサプライズ登場したピエトロ・マキシモフことクイックシルバーの存在があります。 ここで登場したピエトロは、MCU版のアーロン・テイラー＝ジョンソンではなく、X-MEN版のエヴァン・ピーターズが演じていたのです。 さらにドラマ『ミズ・マーベル』では、カマラの遺伝子が家族の中でも特異なものであり、突然変異を起こしたことが明らかに。BGMにはアニメ版X-MENのテーマ曲が流れ、ミューテーションという単語が出てきたりとX-MENが合流しそうな気配を感じさせました。 コミック版ではアベンジャーズと共闘しているので、MCU版でも新生アベンジャーズと共にヴィランと戦う姿が見られるかもしれませんね！ MCUの正史以外のバースを紹介 アース10005 X-MENユニバース。 ドラマ『レギオン』の舞台でもある。 アース96283 アース120703 SPUMCユニバース。 サム・ライミ版・マーク・ウェブ版のスパイダーマンの世界。 アースTRN700 スパイダーバース。 アニメ映画「スパイダーバース」シリーズの世界。 アース51778 東映スパイダーマンのバース。 原作者のスタン・リーも評価した作品。 アース2149 マーベル・ゾンビーズの世界線。 ヒーローがゾンビになった世界。 アース91274 マーベルコミック版トランスフォーマーのバース。 スパイダーマン・サヴェッジランドなどが登場。 この他にも、コミックには、いくつものバースが存在していて、無限の可能性を感じさせてくれます。 マーベルの壮大な世界観には、マルチバースの概念が必須といえますね。 何でもありな「マルチバース・サーガ」の今後に期待 フェーズ4から新たに展開された「マルチバース・サーガ」。フェーズ3までのインフィニティ・ストーンをテーマとした「インフィニティ・サーガ」とは異なりマルチバースをテーマとしているため、今まで以上に大規模な戦闘が繰り広げられることが予想されます。 MCUの今後の展開に期待です！ 数多くのヒーローが登場するマーベル。特に「アベンジャーズ」シリーズには大勢のヒーローが集結し、大興奮させてくれます！ そこで本記事では、MCUでアベンジャーズに関係したキャラクター・ヒーローたちを一覧表で紹介！さらに「アベンジャーズ」シリーズの作品ごとに相関図で関係性も深堀り。また次のアベンジャーズ映画に登場するかもしれない次期アベンジャーズ候補の新ヒーローたちについても解説します！ 次のアベンジャーズ映画はいつ公開？ 「アベンジャーズ」シリーズの次作は、アベンジャーズ5と6の2作品の公開が発表されています。 シリーズ第5作目となる映画『アベンジャーズ：ザ・カーン・ダイナスティ(原題)』が2025年5月3日に全米公開予定。また第6作『アベンジャーズ：シークレット・ウォーズ (原題)』も2026年5月1日に全米公開予定です。 「アベンジャーズ」シリーズのヒーロー一覧 アベンジャーズはもう存在しない？ 2022年9月に開催されたD23 Expoで、マーベル・スタジオ社長のケヴィン・ファイギは「アベンジャーズのような組織はもうありませんが、私たちにはサンダーボルツがいます」とコメント。 さらにサム・ウィルソン役のアンソニー・マッキーも「アベンジャーズは全員失業しました。私たちには新しくてより改善されたグループがあります」と発言しました。 これらの発言は“現時点では存在していない”という意味なのか、それとも……？次の「アベンジャーズ」シリーズで再結成されるものと考えられますが、意外な展開が待っているのかもしれませんね。 『アベンジャーズ』に登場したキャラクター アベンジャーズ結成が描かれた映画『アベンジャーズ』(2012年)。 アスガルドの神の一人、ロキは宇宙人種族チタウリと手を組み、国際平和維持組織S.H.I.E.L.D.(シールド)が保管していた四次元キューブを奪います。 人類滅亡の危機を前に、S.H.I.E.L.D.長官のニック・フューリーは「アベンジャーズ計画」を発動。アイアンマン、キャプテン・アメリカ、マイティ・ソー、ハルクらを招集します。 アイアンマン 本名 トニー・スターク 能力 世界一の頭脳, アーマーを装着しての戦闘 MCU初登場 『アイアンマン』(2008年) MCUでの俳優 ロバート・ダウニー・Jr 若くして父の莫大な遺産と大企業「スターク・インダストリーズ」のCEOの座を受け継いだトニー・スタークは、天才的頭脳を駆使して多種多様な兵器、制度、施設を開発。自らが作ったアーマーによって「アイアンマン」となって戦い、そのアーマーも目的によって使い分けることもできます。 精神的な弱さから、開発した技術を悪用されることが多いのが弱点。MCUでは結成初期から「アベンジャーズ」の中心となって活躍しています。 ハルク 本名 ブルース・バナー 能力 超人的な腕力・耐久力・回復力 MCU初登場 『インクレディブル・ハルク』(2008年) MCUでの俳優 マーク・ラファロ トニー・スタークも認める天才科学者でありながら、実験中の事故により、興奮や怒りを感じると緑色の凶暴なモンスター「ハルク」に変身してしまう身体となったブルース・バナー。 とにかく強くて硬くて、暴走すると誰にも制御できない危険性を持っています。 変身中の知性は会話ができたり出来なかったり。怒りが強いほど強くなり、彼が原因でヒーローが全滅する可能性もあるほどです。 マイティ・ソー 本名 ソー・オーディンソン 人間名：ドナルド・ブレイク 能力 驚異的な腕力・耐久力, 雷の力を操る MCU初登場 『マイティ・ソー』(2011年) MCUでの俳優 クリス・ヘムズワース 神の国アスガルドの王オーディンの息子であるソーは、雷神として相棒のハンマー、ムジョルニアとともに戦います。 空から雷を降らせたり、ムジョルニアを使って飛行したりと、神ならではの能力の持ち主。 もとは傲慢な性格で、アベンジャーズとも初めは折が合わず、初期は独りよがりな戦いが目立ちます。 地球で時間を過ごすうちに、精神的にも成長していく様子に注目したいキャラクターです。 キャプテン・アメリカ 本名 スティーブ・ロジャース 能力 驚異的な腕力・耐久力・反射神経, 指揮能力, 戦闘力 MCU初登場 『キャプテン・アメリカ/ザ・ファースト・アベンジャー』(2011年) MCUでの俳優 クリス・エヴァンス 第二次世界大戦時、虚弱体質な青年スティーブ・ロジャーズは超人血清によって最強の肉体を手に入れ、アメリカの超人兵士「キャプテン・アメリカ」となりました。 終戦後より長年冷凍状態にあったため、現代も若い肉体を保っています。 あらゆる攻撃を跳ね返すヴィブラニウム製の盾は、キャプテン・アメリカにしか使えないじゃじゃ馬です。高潔な人格と圧倒的なカリスマはまさにアクの強いヒーローのまとめ役。卓越した戦略眼の持ち主であり、マーベルで一番の精神力の持ち主でもあります。 ブラック・ウィドウ 本名 ナターシャ・ロマノフ 能力 高い身体能力, 射撃能力, スパイ能力 MCU初登場 『アイアンマン2』(2010年) MCUでの俳優 スカーレット・ヨハンソン 国際平和維持組織S.H.I.E.L.D.のエージェントであり、「ブラック・ウィドウ」のコードネームを持つ最強の女スパイです。 本名はナターシャ・ロマノフ。 MCUではスーパーパワーを持たないキャラクターながら、武道や射撃、アクロバット、精神コントロール、そしてさまざまな言語を操るなど、諜報に関するあらゆる訓練を受けており、高い戦闘能力を持っています。 ホークアイ 本名 クリント・バートン 能力 弓術, 剣術, 高い身体能力 MCU初登場 『マイティ・ソー』(2011年) MCUでの俳優 ジェレミー・レナー 原作コミックにヴィランとして初登場したクリント・バートン。 幼い頃に孤児院から扱げ出してサーカスで育った彼は、そこで人間の限界レベルの弓術、剣術、アクロバットなどを身に つけました。 サーカスで世界で最高の射手「ホークアイ」として有名になった後、アイアンマンの活躍を目撃してヒーローを目指し始めます。最初は誤解されてしまったものの、のちに認められてアベンジャーズにも加入。 MCUではS.H.I.E.L.D.のエージェントとして登場し、結成時からアベンジャーズに参加しました。 ウォーマシン 本名 ジェイムス・ルパート・ローズ 能力 アーマーを装着しての戦闘 MCU初登場 『アイアンマン』(2008年) MCUでの俳優 『アイアンマン』：テレンス・ハワード 『アイアンマン2』：ドン・チードル アメリカ空軍の軍人であるジェームズ・“ローディ”・ローズは、マイアマンンことトニー・スタークの親友です。 原作ではトニーが戦えなくなったときに、アーマーを装着しアイアンマンの肩書を引き継いでヒーローとなり、トニーが復帰した後に「ウォーマシン」になりました。 軍で受けた訓練により戦闘や兵器、航空機などに精通しており、アイアンマンのアーマーを使って高い戦闘能力を発揮します。 MCUでは『アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン』の終盤よりアベンジャーズに加入しました。 ニック・フューリー 本名 ニコラス・ジョセフ・フューリー 能力 格闘の達人, 戦略のプロ MCU初登場 『アイアンマン』(2008年) MCUでの俳優 サミュエル・L・ジャクソン S.H.I.E.L.D.の長官ニック・フューリーは、世界の危機を救うべく「アベンジャーズ計画」を始動。ヒーローを集めてアベンジャーズを結成しました。 原作には第二次世界大戦時のエリート米軍部隊員として登場。その後CIAエージェントを経てS.H.I.E.L.D.の司令官にまで上り詰めた彼は、「インフィニティ・フォーミュラ」によって大幅に老化が抑えられています。高い知能と戦闘力を持ち、司令官でありながら自ら戦場に出るヒーローです。 ロキ 本名 ロキ・ラウフェイソン 能力 超人的な腕力, 耐久力, 強大な魔力 MCU初登場 『マイティ・ソー』(2011年) MCUでの俳優 トム・ヒドルストン 神の国アスガルドで王オーディンに拾われたロキは、王の息子で雷神ソーの義弟として育てられました。母に魔術を習い、攻撃や変身、瞬間移動などができる強力な能力を持ちます。 ソーを兄として尊敬する一方で、王位を受け継ぐ彼に激しい憎悪を抱き、いたずら好きな少年は本当の悪に目覚めてしまいました。アスガルドと地球を支配しようとするロキの陰謀は、アベンジャーズ結成のきっかけに。そのミステリアスなカリスマ性は多くのマーベルファンを魅了しています。 『アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン』から登場したキャラクター ロキの杖を奪うことに成功したトニー・スタークは、その力を使って「ウルトロン計画」を実行。目覚めたのは、邪悪な人工知能ウルトロンでした。 「アベンジャーズ」シリーズ第2作『アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン』(2015年)は、アベンジャーズにファルコンが加わるほか、のちにアベンジャーズに加わるヴィジョンやワンダが登場しました。 ファルコン コミックでのサム・ウィルソンは、彼をキャプテン・アメリカのスパイにしようとした“レッドスカル”によって鳥を操る能力を与えられ、ハヤブサの“レッドウィング”と精神をつなげられました。 さらに現実を変える力で過去を改ざんされ、キャプテン・アメリカと友人になった彼は、ヒーロー「ファルコン」として戦い始めます。時にはキャプテン・アメリカの肩書で活動することも。過去をもとに戻されてからも、ファルコンはヒーローの道を進みました。 MCUでは退役軍人として初登場し、キャプテン・アメリカの親友兼相棒として活動を開始。すぐにアベンジャーズのメンバーになりました。 ワンダ(スカーレット・ウィッチ) コミックではマグニートーの娘であるワンダ・マキシモフは、不思議な特殊能力や魔法を使う魔女「スカーレット・ウィッチ」として覚醒します。X-メンと深い関わりを持ち、アベンジャーズにも参加。双子のクイックシルバーとは強い絆で結ばれています。 彼女の能力は事象を思いのままに改変するほどの強大なもので、歯止めが効かない危険性も孕むためマーベル史において最も重要なキャラクターの1人だと言えるでしょう。 MCUでは人体実験で能力を得たヴィランとして登場しましたが、やがてアベンジャーズのメンバーとして活躍します。 ヴィジョン ヴィラン、ウルトロンが作った人造人間をもとに、アイアンマンの人工知能「ジャーヴィス」、マインド・ストーンが融合してきた人工生命体。強大な戦闘力とソーラーエネルギービームを放つ力、物質透視、聴力操作など計り知れない能力を持っています。 悪により創造されたにもかかわらず温厚で礼儀正しく人間性に溢れる彼は、人類を救うためにヒーロー「ヴィジョン」としてその能力を使い始めました。ワンダと恋に落ち、結婚にまで至ります。 クイックシルバー ワンダの双子の弟(MCU版では兄)であるピエトロ・マキシモフは、音速で移動できる超人的なスピードの持ち主。アメコミで最もシスコンのキャラクターと言っても過言ではない彼は、いつもワンダを守るために行動してきました。姉への想いから多くの大事件も巻き起こしています。 MCUではワンダと同じく人体実験により能力を得た設定で、アベンジャーズを憎むヴィランとして初登場しました。 ウルトロン コミックではアントマンことハンク・ピム博士が作ったロボットであるウルトロンは、人類滅亡の使命を果たそうとする邪悪な存在。アベンジャーズと何度も戦い、負けるたびに自らを改造して強くなっていくスーパーヴィランです。 MCUでは人工知能として登場。トニーがブルースらと「ウルトロン計画」として役立てようとしたところ、自我が覚醒してアベンジャーズと対立することとなりました。 「アベンジャーズ/インフィニティ・ウォー・エンドゲーム」から登場したキャラクター 今回のアベンジャーズに襲い掛かるのは、6つのインフィニティ・ストーンを集める超ヴィラン、サノス。トニー・スタークは地球にある2つのストーンを守るべく動こうとしますが、サノスと彼が率いる組織ブラック・オーダーの脅威が迫ります。やがて1つのストーンが奪われてしまい……。 『アベンジャーズ/インフィニティ・ウォー』(2018年)は、アベンジャーズだけでなくドクター・ストレンジやブラック・パンサーなどのヒーローも集結。最凶の敵サノスと対決は、『アベンジャーズ/エンドゲーム』(2019年)へと続きます。 ウィンター・ソルジャー 本名 バッキー・バーンズ 能力 超人的な戦闘力, 射撃力など MCU初登場 『キャプテン・アメリカ/ザ・ファースト・アベンジャー』(2011年) MCUでの俳優 セバスチャン・スタン 1900年代初期に生まれたバッキー・バーンズは、軍人になってスティーブと友人になりました。やがて彼がキャプテン・アメリカであるという秘密を知り、相棒として共闘します。その後、死んだかと思われていた彼は悪の組織「ヒドラ」のもとで超人兵士にされていました。 現代に蘇った彼は記憶を失っており、「ヒドラ」の暗殺者としてあらゆる訓練を受け「ウィンター・ソルジャー」として任務を与えられるように。MCUではスティーブと再開し、やがてヒーローの道を歩んでいきます。 ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー スター・ロード 本名 ピーター・クイル 能力 エレメンタル・ガンなどの道具を駆使 MCU初登場 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』(2014年) MCUでの俳優 クリス・プラット ピーター・クイルとスター・ロードは異星人と地球人のハーフ。地球で生まれ、銀河でトレジャーハンターをしていた彼は、成り行きで「ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー」を結成することになりました。 特殊能力の持ち主ではないものの、底抜けに明るくノリが軽い彼は、敵を出し抜く悪知恵と口説き文句は誰にも負けません。責任感が強く仲間思いなリーダーです。 ガモーラ 本名 ガモーラ 能力 暗殺術, 武芸, 超人的な身体能力, 超再生能力 MCU初登場 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』(2014年) MCUでの俳優 ゾーイ・サルダナ 最強最悪のヴィランであるサノスの養女として育てられたガモーラは、美しくも宇宙一危険な暗殺者。*種族ゼン・ファーリの最後の生き残りで、緑色の肌と、黒と赤紫のグラデーションのヘアが特徴です。 MCU版では『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー：リミックス』にてスター・ロードと結ばれます。 ドラックス 本名 アーサー・ダグラス 能力 超人的な怪力 MCU初登場 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』(2014年) MCUでの俳優 デイヴ・バウティスタ 全身に赤い入れ墨が入った宇宙人ドラックスは、野獣的な荒くれ者として恐れられる戦士。武器は超人的な怪力と、両手に持った2本のダガーナイフです。原作と違いMCUではスーパーパワーを持たないものの、やはり恐ろしいほどの怪力と、純粋な心を持っています。 ロケット 本名 ロケット 能力 高い知能, 武器開発 MCU初登場 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』(2014年) MCUでの俳優 ブラッドリー・クーパー(声) 遺伝子操作により誕生したロケットは、アライグマの五感と軍人としての抜群の戦略考案スキルの持ち主。銃器や爆発物、軍用車両の運転にも長けており、極めて優秀な軍人です。 賞金稼ぎや惑星調査で宇宙を飛び回っている時にスターロードに出会い「ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー」の一員に。 アライグマ扱いされるのを嫌い、短気で乱暴、おまけに口汚いという困ったアライグマです。 グルート 本名 グルート 能力 自然再生, 伸縮, 枝による防御・攻撃 MCU初登場 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』(2014年) MCUでの俳優 ヴィン・ディーゼル(声＆一部モーションキャプチャー) 驚異的な再生能力を持つ樹木型ヒューマノイド。枯れ木のような見た目のグルートは、原作ではもともと人間を研究するために地球へ来たモンスターでした。 「アイ・アム・グルート」というフレーズしか口にしませんがロケットや一部のメンバーとは意思疎通が可能な様子。体を自在に伸縮させて戦います。 マンティス 原作では、恋人ゾーズマンを支える形でアベンジャーズと関わっていた地球人マンティス。MCUではマンティス(カマキリ)のような触覚と大きな目を持つエイリアンという設定になりました。 スターロードの父エゴに仕える者として世間を知らずに生きてきた彼女は、少しずつ「ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー」と打ち解けて、新たな仲間になります。 ネビュラ 本名 ネビュラ 能力 暗殺術, 戦闘力, 超人的なパワード・スタミナ・回復力など MCU初登場 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』(2014年) MCUでの俳優 カレン・ギラン 宇宙海賊で傭兵のネビュラは、サノスの孫を自称し、アベンジャーズとも対峙するヴィラン。MCU版ではガモーラとともに暗殺者として育てられサイボーグ化されたガモーラの義妹という設定となり、サノスの部下として働くキャラクターとして登場します。 ブラックパンサー 本名 ティ・チャラ 能力 高い知能, 超人的な身体能力, ヴィブラニウム製スーツや兵器の使用など MCU初登場 『シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ』(2016年) MCUでの俳優 チャドウィック・ボーズマン 絶大なパワーを持つ鉱石「ヴィブラニウム」の産出国、ワカンダの王であるティ・チャラ。気品高き王であり、漆黒のヒーロー「ブラックパンサー」であるという 2 つの顔を持つ人物*です。 神秘のハーブがもたらす超人的な身体能力や回復力に加え、ヴィブラニウムを織り込んだスーツや兵器を駆使して戦います。 MCU版では「エンドゲーム」でアベンジャーズに参戦しました。 ドクター・ストレンジ 本名 スティーヴン・ヴィンセント・ストレンジ 能力 魔術による瞬間移動・飛行能力など, テレパシー, 格闘術 MCU初登場 『ドクター・ストレンジ』(2016年) MCUでの俳優 ベネディクト・カンバーバッチ 天才的外科医であったストレンジは、事故による両手の怪我で名声の絶頂から転落します。傷を治したい一心で弟子入りしたのが、魔術師エンシェント・ワンでした。 修行の末に魔術を学び習得したストレンジは、「ドクター・ストレンジ」としてヒーロー活動を始めます。MCU版ではアイアンマンやスパイダーマンと協力関係になり、「エンドゲーム」ではアベンジャーズに参戦しました。 スパイダーマン ©2019 CTMG. © & ™ 2019 MARVEL. 本名 ピーター・パーカー 能力 壁や天井によじ登る吸着能力, 超人的な身体能力, スパイダー・ウェブ発射 MCU初登場 『シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ』(2016年) MCUでの俳優 トム・ホランド 特殊なクモにかまれて特殊能力を得た青年ピーター・パーカー。超人的な身体能力と壁に張り付く蜘蛛としての力、蜘蛛としての野生の勘が働くスパイダーセンスを手に入れ、発明品ウェブシューターを使ってスパイダー・ウェブを発射してビルを飛び回ります。 親愛なる隣人「スパイダーマン」としてヒーロー活動を始めた彼は、ヒーローの責任の重さに悩みながらも成長していくティーンエイジャーです。 MCU版ではアイアンマンと師弟関係になり、アベンジャーズに入りたくてウズウズ。「インフィニティ・ウォー」で参加を許可されます！ キャプテン・マーベル 本名 キャロル・ダンヴァース 能力 超人的な身体能力・耐久力, 予知能力, 高速飛行など MCU初登場 『キャプテン・マーベル』(2019年) MCUでの俳優 ブリー・ラーソン コミックでは、クリー人のヒーローである初代「キャプテン・マーベル」に出会った地球人のキャロル・ダンヴァース。傷から彼の遺伝子が流れ込み、超人的な肉体を手に入れました。 「ミズ・マーベル」と名乗りヒーロー活動を始め、アベンジャーズにも加入します。 やがて「キャプテン・マーベル」の肩書を受け継いだ彼女は、今ではキャプテン・マーベルといえばキャロル・ダンヴァースを指すほどの人気と知名度を獲得しました。 MCUには、スペーストーンの影響で能力を得たスーパーヒーローとして活躍。記憶をなくした状態で登場したものの、今ではMCU最強のヒーローです。 アントマン 本名 スコット・ラング 能力 アリサイズまで収縮, アリや昆虫とテレパシー MCU初登場 『アントマン』(2015年) MCUでの俳優 ポール・ラッド 物体のサイズを自由に変えられる「ピム粒子」を発明したハンク・ピム博士は、人間のサイズを縮小させるスーツを作りヒーロー「アントマン」として活動します。病気の娘のためにそのスーツを盗んだ泥棒のスコット・ラングは、ピム博士の提案で2代目「アントマン」になることに。 アントマンとして最も有名なのはピム博士ですが、MCU版ではスコットが活躍。 『シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ』(2016年)でキャプテン・アメリカにスカウトされ、「エンドゲーム」で参戦しました。 サノス 本名 サノス 能力 圧倒的パワー, 不死, 頭脳 MCU初登場 『アベンジャーズ』(2012年) MCUでの俳優 ダミオン・ポワチエ, ジョシュ・ブローリン, ショーン・ガン(モーションキャプチャー) 衛星・タイタンで生まれたサノスは、不遇な幼少期を過ごし、やがて「死」を崇拝するように。そして銀河最凶とも言われるスーパーヴィランとなりました。 MCU版には『アベンジャーズ』で初登場。6つのインフィニティ・ストーンを集め全宇宙の半分の生命体を消し去ろうともくろみます。 「インフィニティ・ウォー」と「エンドゲーム」でアベンジャーズをはじめとするヒーローたちと戦い、彼らを苦しめました。 未来のアベンジャーズ？新たなヒーロー達 フェーズ3の終盤の「エンドゲーム」で、MCU「アベンジャーズ」シリーズにはひとつ区切りがつきました。 「アベンジャーズ5」のメンバーは、これまでのアベンジャーズとはがらりと変わるのかもしれません！ ここからは、フェーズ4以降に新登場した新アベンジャーズ候補のヒーローたちを紹介していきます。 シャン・チー 目立たない ホテルマンである青年の正体は、世界征服を目論む父から暗殺者として育てられた最強の武術家シュー・シャン・チー。悪の組織の後継者というレールから逃げ出した彼は、やがて組織と対決することを余儀なくされ、マーベル初のアジア系ヒーロー「シャン・チー」となりました。 「マスター・オブ・カンフー」との異名も持ち、スーパーパワーを持たない人間ながら超人や神と戦えるほどの実力者です。MCU版では単独映画で初登場しました。 エターナルズ MCU初登場 『エターナルズ』(2021年) MCUでの俳優 ジェンマ・チャン, アンジェリーナ・ジョリー, リチャード・マッデン 他 太古から人類を見守ってきた不死の地球外生命体たちのヒーローチーム。浮遊能力、マインドコントロールなど、それぞ